令和６年度畜産クラスター情報交換会に係る事前レポート②

　畜産クラスター情報交換会で使用する資料としますので、下記設問を【記入例】を参考にご記入の上、令和６年12月18日（水）までに、メールもしくはFAXにてご提出ください。各協議会のプレゼン動画撮影の資料とします。

記入方法については、「飼養頭数」「飼料用米栽培面積」等、重点的に取組んでいる内容を3つ選び、具体的に記載してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組内容  （目標項目） | 起点となる値 | 現状値 | 目標値 | 自己評価 | 要因分析・課題 |
| H　　年度 | Ｒ　　年  　　 月 | Ｒ　　年度 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

【記入例】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組内容  （目標項目） | 起点となる値 | 現状値 | 目標値 | 自己評価 | 要因分析・課題 |
| H30年度 | Ｒ４年  　 ３月 | Ｒ６年度 |
| 子牛販売頭数の拡大 | 420頭 | 450頭 | 600頭 | 目標達成が困難な状況となっており、目標設定の見直しが必要である。 | 高齢化による廃業が目標設定当初の想定より著しく多く、販売頭数が減少した。しかし、子牛価格が高騰しているため、販売額は拡大した。 |
| WCSの作付面積の増加 | 45ha | 47ha | 50ha | 1年に1ha程度の生産面積の増大を計画しており、2年目までは順調に拡大している。 | 耕種農家の協力もあり、作付面積の拡大につながったが、天候不順（長雨）の影響があり、収穫量が昨年度より10%減少した。 |
| 肥育センターの利用頭数の増加 | 50頭 | 70頭 | 100頭 | 取組は順調に進んでおり、目標達成が可能。 |  |

【取組内容（目標項目）について】

　取組内容（目標項目）は、次のような具体的な内容の中から適宜選択の上、記載してください。

例）

①労働時間の削減、②飼養頭数の増大、③生乳生産量の拡大、④性判別受精卵（精液）の使用数の増加

⑤堆肥センターへの搬入量の増加、⑥堆肥販売量の増加　など